

令和6年度

交通施策のポイント

大阪府都市整備部
交通戦略室

～もくじ～

交通戦略室施策のポイント・・・・・・・・・・・・・・・・	P.1
------------------------------	-----

成長・活力

・ 大阪・関西の成長・活力を支える交通・・・・・・・・	P.2
-----------------------------	-----

安全・安心

・ 安全・安心な暮らしを支える交通・・・・・・・・	P.5
・ 戦略的な維持・管理・・・・・・・・	P.7

都市魅力

・ 都市の魅力を高める交通・・・・・・・・	P.7
-----------------------	-----

◆◆資料編◆◆

○交通戦略室の予算・・・・・・・・	資料1
○鉄軌道の整備状況・・・・・・・・	資料2

施策のポイント

◆府民の暮らしや都市の成長を支え、豊かな社会を実現するため、交通体系のめざすべき方向性を見据えつつ、総合的な交通施策を推進します。

成長・活力

ポイント-1： 大阪・関西の成長・活力を支える交通

- リニア中央新幹線・北陸新幹線の早期全線開業の実現
- 大阪・関西の鉄道ネットワークの充実・強化
- 公共交通の利便性向上
- ライドシェアの導入に向けた環境整備



〔大阪モノレール 駅舎イメージ〕



〔ユニバーサルデザインタクシー〕

安全・安心

ポイント-2： 安全・安心な暮らしを支える交通

- 災害に強い交通インフラの構築
- 公共交通のユニバーサルデザイン化
- 自転車の安全利用に係る取組
- 交通安全の普及啓発
- 地域公共交通にかかる取組



〔鉄道高架駅の耐震補強〕



〔交通安全の普及啓発〕

ポイント-3： 戦略的な維持管理

- 計画的な維持管理



〔モノレール施設の点検〕

都市魅力

ポイント-4： 都市の魅力を高める交通

- 公共交通の利用促進



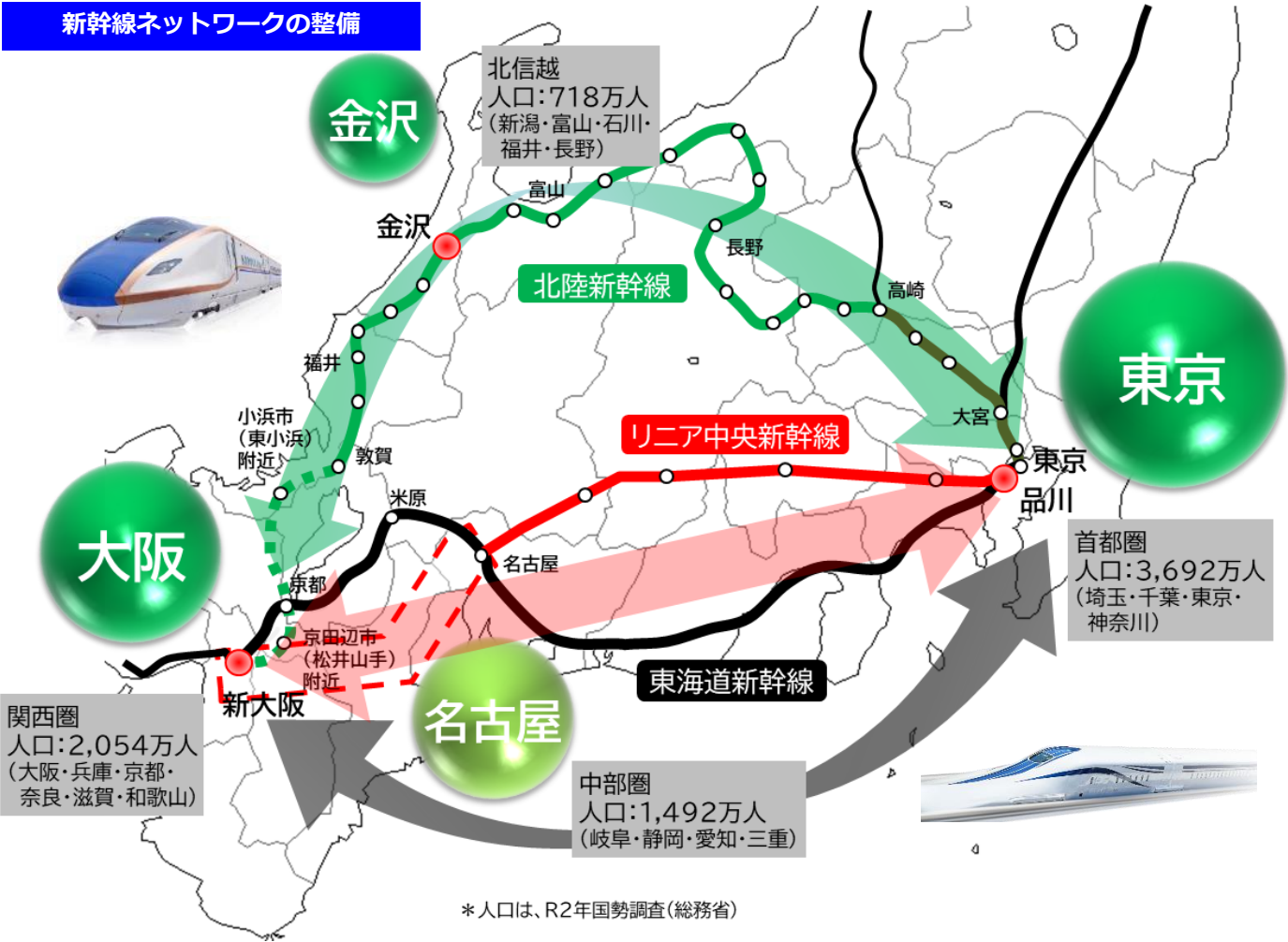
〔鉄道モデルルートが発信など〕

ポイント- 1 : 大阪・関西の成長・活力を支える交通

◆リニア中央新幹線・北陸新幹線の早期全線開業の実現

リニア中央新幹線・北陸新幹線の大阪までの1日も早い全線開業に向け、大阪の官民が一体となった協議会などを通じ、オール大阪で国などへの働きかけや機運の醸成に取り組みます。

新幹線ネットワークの整備

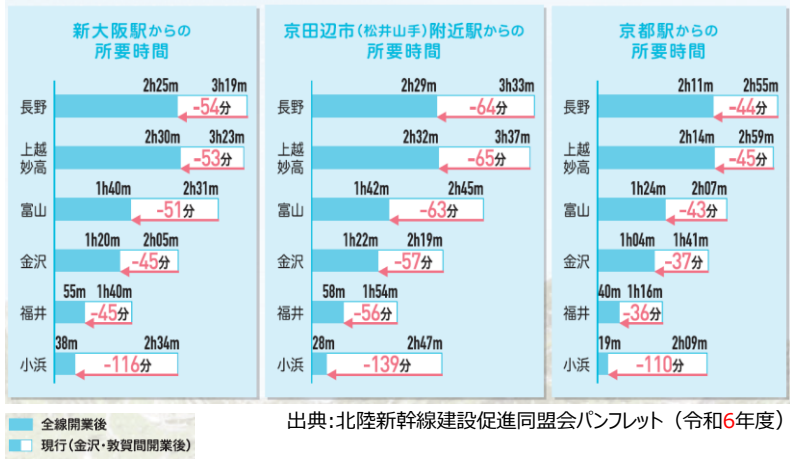


○リニア中央新幹線全線開業による時間短縮効果

	大阪・名古屋間 <152km>	大阪・東京間 <438km>
現行	47分	135分
全線 開業時	27分 (▲20分)	67分 (▲68分)

出典:リニア中央新幹線建設促進期成同盟会パンフレット (令和6年度)

○北陸新幹線全線開業による時間短縮効果



出典:北陸新幹線建設促進同盟会パンフレット (令和6年度)

<令和6年度の主な取組>

- 官民一体となった地元協議会や沿線府県などと連携した活動を通じ、建設促進大会の開催や国などへ働きかけを行うとともに、広報啓発事業の実施などの機運醸成を図る取組を進めます。

◆大阪・関西の鉄道ネットワークの充実・強化

「公共交通戦略」に基づき、大阪・関西の成長に向け、事業者や関係機関とともに、国土軸や関西国際空港へのアクセス強化、放射環状型の鉄道ネットワーク形成といった取組を進めます。

公共交通戦略路線の整備



なにわ筋線



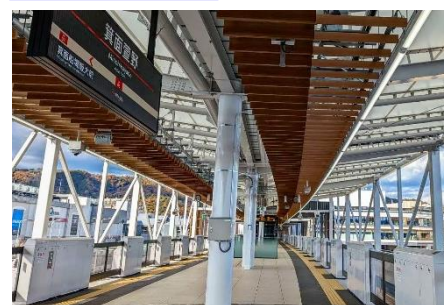
大阪駅（うめきたエリア）付近

モノレール延伸



駅舎イメージ

北大阪急行延伸



箕面萱野駅

※北大阪急行延伸、大阪駅（うめきたエリア）以外の新駅名は仮称
※公共交通戦略（令和元年11月改訂）を基に作成

＜令和6年度の主な事業路線＞

令和6年度
知事重点事業

- ・ なにわ筋線〔大阪駅（うめきたエリア）～ＪＲ難波駅・南海新今宮駅〕
（2030年度（令和12年度）末開業目標）（事業主体：関西高速鉄道(株)）
- ・ 大阪モノレール延伸〔門真市駅～瓜生堂駅※〕
（事業主体：大阪府・大阪モノレール(株)）
※駅名は仮称

◆公共交通の利便性向上

【連続立体交差事業】

鉄道を高架化することで、「開かずの踏切」による交通渋滞や踏切事故を解消するとともに、鉄道により分断されている市街地の一体化を図り、安全で快適なまちづくりを推進します。



京阪本線と国道1号の交差付近 現況と完成イメージ

<令和6年度の主な取組>

- ・京阪本線（寝屋川市・枚方市）香里園駅～枚方公園駅付近
⇒鉄道高架工事、用地取得、埋蔵文化財調査、支障物撤去工事の推進
- ・南海本線・高師浜線（高石市）羽衣駅～高石駅付近
⇒関連側道整備及び高架下整備の推進（全線高架化に伴い令和6年4月 高師浜線 鉄道運行再開）
- ・阪急京都線（摂津市）摂津市駅付近
⇒用地取得、埋蔵文化財調査、鉄道施設設計、支障物撤去工事の推進
- ・近鉄奈良線（東大阪市）若江岩田駅～東花園駅付近
⇒道路等復旧工事の推進（平成26年 全線高架化切替済）

【ユニバーサルデザインタクシーの普及促進】

大阪・関西万博開催に向け、府内タクシー総台数の約25%をUDタクシーとすることを目標に、UDタクシーの普及促進を図ります（令和5年度末時点：約13%）。

<令和6年度の主な取組>

- ・ユニバーサルデザインタクシー普及促進事業
○万博時の受入環境整備のため、事業者に対し、ユニバーサルデザインタクシーの購入費用を補助



令和6年度
知事重点事業

出典：国土交通省ホームページ

○府補助上限額：30万円／台

※府全域で国の補助金と併用可能であり、大阪市域と吹田市域においてはさらなる併用が可能
（大阪市域・吹田市域：最大120万円/台 その他の地域：最大90万円/台）

【MaaSの実現に向けた取組】

大阪・関西万博開催に向け、府民・来阪者の移動の利便性を向上させるMaaSの取組を強力に進めるため、交通事業者のMaaSの実現に向けた取組を促進します。

<令和6年度の主な取組>

- ・公共交通MaaS促進事業
○QRコードやクレジットカードのタッチ決済、生体認証システムの導入などを行う鉄道事業者に対して補助



令和6年度
知事重点事業

※ QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

近畿日本鉄道 大阪難波駅（R5年度事業にて設置）

◆ライドシェアの導入に向けた環境整備

【ライドシェア推進事業】

タクシー運転手の不足や高齢化が進展する中で、万博時の交通需要やインバウンド需要の増加などに対応し、府民の移動の自由を守るため、ライドシェアの導入や利用促進に向けた環境を整備し、「大阪がめざすべきライドシェア（案）」の実現に取り組めます。

<国>

- 令和6年3・4月、タクシー事業者によるライドシェアに係る不足車両数の公表（大阪市域ほか11都道府県）
※意向のある事業者が順次実施
- 令和6年6月に向けてタクシー事業者以外の者によるライドシェア事業に関する法律制度について議論

<大阪府内>

万博開催の半年前からライドシェアの試行実施

「大阪がめざすべきライドシェア(案)」実現へ



<令和6年度の主な取組>

- 乗降禁止の場所、タクシー需要に関する調査
- ライドシェアの導入や利用促進のための広報PR

令和6年度
知事重点事業

ポイント-2：安全・安心な暮らしを支える交通

◆災害に強い交通インフラの構築

【鉄道施設の耐震化】

鉄道利用者などの安全確保及び鉄道と交差・並走する広域緊急交通路などの機能確保のため、鉄道事業者が実施する耐震補強事業に補助を行います。



鉄道高架駅の耐震補強



広域緊急交通路と交差する開削トンネルの耐震補強

<令和6年度の主な補助事業箇所>

高架駅：阪急宝塚線 池田駅
高架橋など：阪急京都線 高槻市～上牧、近鉄南大阪線 北田辺～今川 など

◆公共交通のユニバーサルデザイン化

【駅ホームにおける転落防止対策】

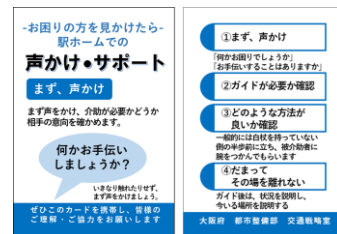
「大阪府内の駅ホームにおける安全性向上の取組について（令和3年4月修正）」に基づき、鉄道事業者が実施する可動式ホーム柵整備に対し補助を行うとともに、新技術を活用した安全対策の取組や、目の不自由な方への声かけが促進されるよう啓発活動を実施するなど、ハード・ソフトの両面で駅ホームからの転落事故の未然防止を図ります。



可動式ホーム柵の設置（屏式）



声かけの啓発活動



声かけ・サポート 啓発カード

<令和6年度の主な補助事業箇所>

近鉄奈良線・大阪線 鶴橋駅、南海高野線 中百舌鳥駅、泉北高速鉄道線 和泉中央駅

◆自転車の安全利用に係る取組

【自転車条例】

「大阪府自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」に基づき、保険の加入促進や条例の普及啓発、幅広い世代を対象とした交通安全の周知啓発活動などを推進します。

【事業連携協定及び自転車条例普及推進員】

民間企業・団体と事業連携協定を締結し、交通安全の啓発に取り組むとともに、自転車条例普及推進員に認定された社員が、企業活動を通じて、顧客企業の従業員等を対象に、自転車の安全利用について啓発活動を行います。

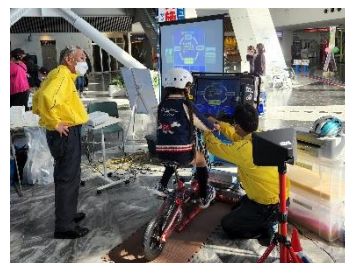
また、自転車保険加入率と自転車乗車時のヘルメット着用率向上を目的としたジテシラprojectを推進します。

【自転車ヘルメットの着用啓発】

道路交通法の改正により、全年齢層の自転車利用者に対して乗車用ヘルメット着用が努力義務化となったことから、より一層の着用促進にむけた普及啓発を推進します。

【自転車シミュレータの活用】

自転車シミュレータを活用した自転車安全講習会を、学校、企業及び団体等で開催し、自転車乗車中の交通ルールと正しい交通マナーを実践的に学んでもらえる機会を作ります。



自転車シミュレータ

◆交通安全の普及啓発

交通安全イベントの実施、啓発リーフレットの配布や交通安全教育指導員を派遣した交通安全講習会などの交通安全活動を推進するほか、幅広い年齢層をターゲットとしたYouTubeによる動画配信や、歩行者の安全確保に向けた「横断歩道ハンドサイン運動」、運転中・歩行中にスマートフォン等の操作を行う「ながら行為」の防止などの交通安全の普及啓発を図ります。



自転車マナーアップイベント



小学生に対する交通安全教室

◆地域公共交通にかかる取組

令和6年度
知事重点事業

令和6年度は、路線バスの人材確保のため、路線バス事業者に対して免許取得や研修等費用の補助を行います。また、府内を4ブロックに分けた市町村担当者会議において、近畿運輸局と連携した情報提供や市町村による意見交換の場を提供するとともに、市町村が主催する地域公共交通会議に委員として参画し、計画策定の支援などを行うなど、市町村の地域公共交通に係る取組を支援します。

《大阪府内における協議会等の設置状況》

43市町村のうち、33の市町村で地域公共交通協議会等を設置
うち、13市町で地域公共交通にかかる計画を策定



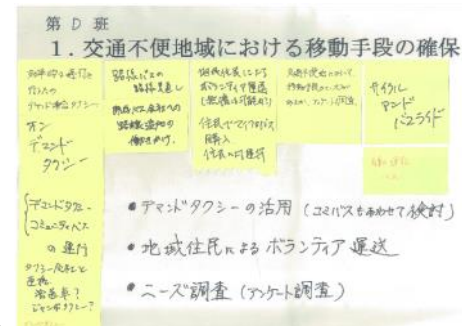
講義形式の研修



グループワークの成果発表

持続可能な地域公共交通に向けた
方策の抽出作業

【イメージ】

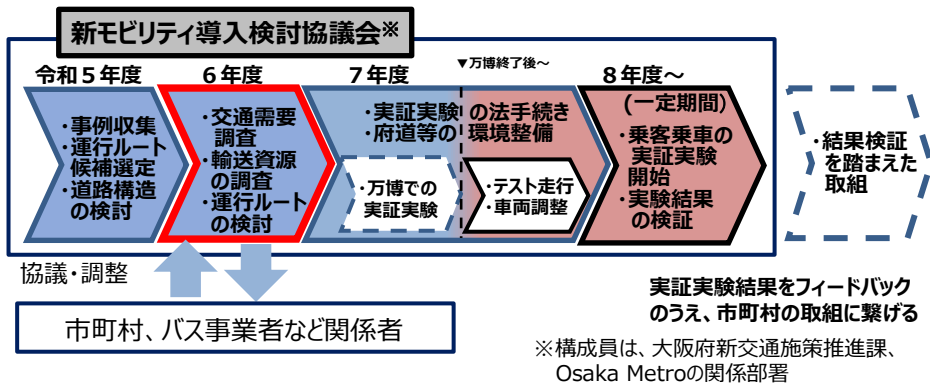


【新モビリティの導入検討】

交通事業者の運転手不足など地域の交通課題の解決に向け、先導的モデル事業として万博で導入される自動運転バスを活用して、南河内地域において実証実験開始をめざし、交通需要調査や運行ルートの検討をはじめとする必要な調査等を実施します。



OsakaMetroが万博で導入予定の自動運転バス(OsakaMetro提供)



ポイント-3：戦略的な維持管理

◆計画的な維持管理

【モノレール施設の点検、予防保全対策】

大阪モノレールでは、軌道桁や支柱などのインフラ部施設を管理している大阪府と車両や電気線などのインフラ外部施設を管理している大阪モノレール(株)が協力し、計画的な維持管理を行っています。大阪府では効率・効果的な維持管理の充実・強化のため、平成26年度に策定した「大阪府都市基盤施設長寿命化計画」に基づき、施設・設備の点検、劣化状況の診断、健全度の評価を行い、施設の損傷や劣化が進行する前に補修する予防保全対策や設備更新を実施することにより、長寿命化、機能維持に取り組みます。



施設・設備点検の状況



予防保全対策工事（塗装塗替）



ドローンによる特殊橋点検

ポイント-4：都市の魅力を高める交通

◆公共交通の利用促進

子どもたちに公共交通と環境について学んでもらう「交通・環境学習」の実施や、ウェブページを用いたパーク&ライド、レンタサイクルに関する情報などの発信、鉄道などで地域の魅力を巡って楽しめるモデルルートの作成など、ソフト施策の充実を図り、公共交通の利用促進に取り組みます。



交通・環境学習の様子



地域の魅力を鉄道で巡るモデルルートの例